

台風の名前

JJ1SXA/池

突然ですが、コイヌ、ヤギ、ウサギ、カジキ、コト、クジラ、コグマ、コンパス、トカゲ、ヤマネコ、これ等の名称は何でしょうか？

こいぬ座、やぎ座、うさぎ座、かじき座、こと座、くじら座、こぐま座、コンパス座、とかげ座、やまねこ座に書き換えれば、な〜んだ、星座の名前かとなるが、実は、もう一つ、別の物の名前です、これが今回の本題です、台風の名前でもあるのです。

ちなみに今年(2021年)の台風16号の名前は、Mindulle(ミンドウル・민 들 레) です、ハングル表記を付けたが、朝鮮語で「たんぼぼ」だ。

台風には従来、米国が英語名(人名)を付けていたが、北西太平洋または南シナ海で発生する台風防災に関する各国の政府間組織である台風委員会(日本含む14カ国等が加盟)は、平成12年から、北西太平洋または南シナ海の領域で発生する台風には、同領域に共通のアジア名として、同領域内で用いられている固有の名前(加盟国などが提案した名前)を付けることになりました。

平成12年の台風第1号にカンボジアで「象」を意味する「ダムレイ」のアジア名が付けられ、以後、発生順にあらかじめ用意された140個のアジア名を順番に用いて、その後再び「ダムレイ」に戻ります。台風の年間発生数の平年値は25.1個ですので、おおむね5から6年で台風のアジア名が一巡することになります。

気象庁では毎年1月1日以後、最も早く発生した台風を第1号とし、以後台風の発生順に番号をつけています。

なお、一度発生した台風が衰えて「熱帯低気圧」になった後で再び発達して台風になった場合は同じ番号を付けますとのこと。

台風を英語で表記する場合は台風のアジア名を用い、Tropical Cyclone(TC)や台風期間中の最大強度(風速)に応じた階級を台風のアジア名の前に付す場合もあります。

Tropical Depression(TD):最大風速33ノット以下で、風力7以下のものは台風の強度に達しない熱帯低気圧とされる

Tropical Storm(TS):最大風速34ノット以上48ノット未満(熱帯性低気圧)

Severe Tropical Storm(STS):最大風速48ノット以上64ノット未満(激しい熱帯低気圧)

Typhoon(TまたはTY):最大風速64ノット以上(台風)

Typhoon(TまたはTY)/Hurricane(TH) /Cyclone(TC)は、同じ台風で、発生場所により名前が変わるのだ。

タイフーンは北西太平洋で、ハリケーンは大西洋および北東太平洋で、サイクロンは南太平洋またはインド洋で、発生・発達したものを指すとのこと。

(2021年9月記)